

一般質問

# ケーブルテレビを 早期に全島整備へ



若林直樹 議員

## ケーブルテレビについて

質問

市民が安心して暮らすには、情報を平等に共有する必要があります。ケーブルテレビ未整備地区は今後どのような計画で整備するのか。また、イントラネット基盤整備事業で配線されたケーブルには、テレビ用の芯線が内蔵してあると認識しているが、利用可能な設計がされているのか。

市長

ケーブルテレビ事業計画については、未整備の両津、相川、金井、畑野地区内で民間のケーブルテレビエリアを除く地区を対象に、平成18年度以降順次整備をしたい

と考えている。

このために今年度に現地調査を行っており、基本計画を策定中である。

また、平成16年度イントラネット事業と合わせて、市の単費分の予備線を敷設してある。主に中継基地間の幹線として利用する。

質問

イントラネット事業での工事は、将来のテレビ用を見越して設計がされたか疑問である。事業の推進と合わせて加入の促進に努める必要がある。

市長

経費のこともあり最小限テレビが見れるように敷設してある。

企画情報課長

対象の地区には説明会など開き加入に努める。

また、休止している家庭にも理解を求めていく。放送番組も今後は一層の内容の充実に努め、市民の支持が得られるように努める。

## イントラネット事業

質問

イントラネット基盤整備事業の中での、ソフト事業はどのようなことが整備されたのか。また、今後の活用を聞きたい。

市長

地域イントラネット整備事業は、公共施設を結ぶ高速通信システムのハードの整備を行った。また、ソフト

事業として地図情報のシステムの開発を行った。市のホームページ等を合わせて地図を使用した情報の検索が可能になる。

企画情報課長

地図情報システムは、佐渡市の地図上に公共施設や文化、観光、史跡等の情報を表示してさらに詳しい情報を見ることができるようになる。

## 羽茂自然学園の拡充

質問

羽茂自然学園は全国の小中学生を対象とした、山村留学や都市との交流を目的として昭和61年に発足した。

20年が経ち卒園生も150人を数える。佐渡の特色ある施設として今後拡充、発展させていく必要があると思うが。

市長

羽茂自然学園は佐渡の自然を最大限取り入れた施設であり、交流事業に大きな効果がある。地元との協力を得て存続したい。

教育長

現在6人の在園生がいる。小学校の複式の解消や、授業でも教育効果がある。地元の理解を得ながら、募集や運営の方法を考えていきたい。

